

Q65. Windows2000 でノンストップ電源をコントロールすることができますか？

A65. Windows2000 を使用して弊社 NSP2 シリーズのバックアップ運転制御を行った場合、OS 終了後の SHUT DOWN 信号※が NSP に入力されず、NSP の完全停止に至らないという問題が生じます。これに対し、OS 終了時の自動電源停止 (APM、あるいは ACPI 機能) を利用することにより完全停止を行う新機種 NSP2-250-D2S7 を用意いたしました。

※SHUT DOWN 信号

RS232C を通じノンストップ電源に入力される信号。この信号によりノンストップ電源のバッテリー入力を遮断し、ノンストップ電源を完全停止させる。

●従来機種 (NSP2-250-D2S) との動作比較

表 6.19 バッテリーバックアップ運転時に REMOTE OFF の信号を受けた時

	メイン出力	5VSB 出力
NSP2-250-D2S	停止	保持 (バッテリーから供給)
NSP2-250-D2S7	停止	停止

※NSP2-250-D2S7 は、DC 運転時に REMOTE OFF によりバッテリー接続を遮断し、全出力を停止しますが、その後の REMOTE ON による起動は出来ません。

●Windows 2000 標準の UPS コントロール機能を利用した設定方法

**対応機種** 【 eNSP-300P シリーズ、NSP3-150 シリーズ、NSP2-250-D2S7、NSP7-100 -X2S2/ -T2S2 】

※お客様がお使いのシステムが APM、あるいは ACPI による OS 終了後の電源自動 OFF をサポートしている場合

Windows 2000 では、NT 4.0 よりも機能の高い UPS コントロールのサービスが用意されています。NT4.0 では、[無停電電源]のアイコンで用意されていた UPS コントロールのサービスが、[電源オプション]の中に組み込まれています。

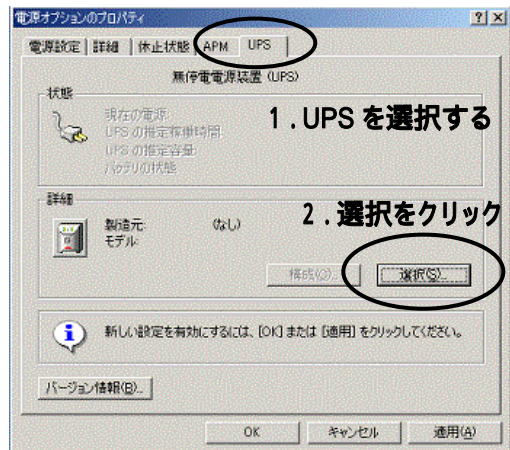
設定方法:

① [電源オプション]をクリックして、[電源オプションのプロパティ]を開きます。

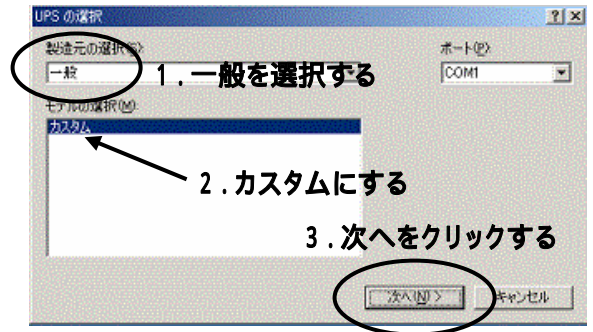


これをクリックする

② ここで[UPS]のタグをクリックします。初期状態では UPS が選択されていないので[選択]をクリックし設定を行います。



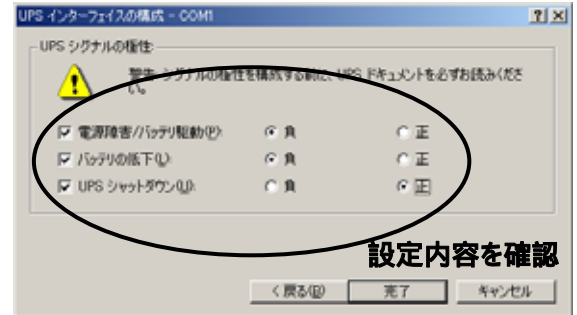
- ③ 当社の NSP シリーズを設定するためにはここで[一般]を選択します。続いて、[モデルの選択]を[カスタム]にして、[次へ]をクリックします。



- ④ ここでは、インターフェースの構成を設定する事が出来ますので、[電源障害/バッテリー駆動]を「負」に、[バッテリーの低下]を「負」に、[UPS シャットダウン]を「正」にします※。

※【NSP7-100 -X2S2/-T2S2】は、[電源障害/バッテリー駆動]を「正」に、[バッテリーの低下]を「正」に、[UPS シャットダウン]を「正」にして下さい。

設定し終わったら、[完了]をクリックします。



- ⑤ [OK]をクリックするとサービスが起動します。

#### [APM]のタグがある場合

[APM]のタグをクリックします。[アドバンスドパワーマネジメントを開始する]にチェックが入っていることを確認し、[OK]をクリックするとサービスが起動します。

※上記の方法で使用する場合は、SHUT DOWN 信号は必要ありません。誤動作する恐れがあるため、PC との接続には SHUT DOWN 信号の接続がないタイプの RS232C ケーブル (弊社型式 PS2601-02) のご使用をお勧めします。

